

がん化学療法レジメン登録票

新規レジメン登録の際にはプロトコールの提出が必須です
プロトコールがない場合は参考文献を提出してください

レジメン名	EC(90/600)
診療科名	乳腺科
診療科責任者名	福間英祐
適応がん種	乳がん
保険適応外の使用	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

がん治療ワーキンググループ使用欄	
登録番号	Br-20
登録日・更新日	2008年10月22日登録・2022年12月27日更新
削除日	
出典	乳癌診療ガイドライン1薬物療法
入力者	川田 暁

投与順に記入 (抗がん剤のみ)

	薬剤名: 一般名 (薬剤名: 商品名)	規格	投与量算出式	投与経路	投与時間	施行日
	希釈液					
No.1	エピルピシン塩酸塩 (エピルピシン塩酸塩注射液「NK」)	10mg、50mg	90mg/m ²	□IV ■DIV ■CV □側管 □その他()	全開	Day1
	生理食塩液	100mL				
No.2	シクロホスファミド水和物 (注射用エンドキサン)	100mg、500mg	600mg/m ²	□IV ■DIV ■CV □側管 □その他()	30分	Day1
	生理食塩液	100mL				

1コースの期間	21日
投与間隔の短縮規定	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮可能(1 日) ・ <input type="checkbox"/> 短縮不可能
計算後の投与量上限値	110%
計算後の投与量下限値	50%

減量・中止基準	延期基準: WBC<3000/mm ³ またはANC<1500/mm ³ 初回投与時はWBC>4000/mm ³ またはANC<2000/mm ³ が望ましい
前投薬	アプレピタント or ホスネツピタント、グラニセトロン 3mg、デキサメタゾン 8~20mg 症状に応じてデキサメタゾンは減量可能(DM患者やHBVキャリアーは投与しないこともある)
その他の注意事項	エピルピシンの累積最大投与量は900mg/m ² とする CVポートのある患者はCVポートから投与

記入者	川田 暁
確認者	梨本 実花